

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

スポーツで茂原元気プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

茂原市

3 地域再生計画の区域

茂原市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

茂原市は豊かな自然環境や雪がほとんど降らない温暖な気候に恵まれており、東京都心、羽田や成田の各空港からも公共交通機関で約1時間のアクセスの良い地域である。また、海まで車で15分程度、市の西側は、房総丘陵の里山環境と豊かな自然に囲まれている。本市の人口は平成14年10月の95,356人をピークに減少を続けており、平成29年4月1日時点で90,715人となっている。

人口減少に加えて、高齢化もすすみ、老年人口割合は平成27年の28.8%から平成29年4月で30.8%と急激に上昇しており、生産年齢人口は60.0%から58.3%、年少人口は11.2%から10.9%と減少している。茂原市人口ビジョンでは、2040年（平成52年）の人口を84,878人とし、うち老年人口割合を34.8%と見込んでおり、人口の減少とともに高齢化率もさらに進んでいくものと思われる。また、世帯数は平成29年4月1日現在39,867世帯で、平成27年4月の39,204世帯から増加しており、世帯当たりの人員も2.34人から2.28人と世帯も小規模化している。65歳以上の高齢者単身世帯については、平成22年の3,145世帯から平成26年の5,689世帯、全世帯数に対する割合も8.8%から14.6%に世帯数、割合ともに増加している。

4-2 地域の課題

人口の減少、特に生産年齢人口の減少により地域における労働供給力が低下することとなり、消費の減退とともに需給両面からの地域経済の縮小につながる。また、高齢化に伴い、後期高齢者医療制度においては、平成23年給付額71億円が、平成27年には83億円に増加している。

このように人口減少、高齢化による地域担い手が不足することにより、コ

コミュニティの活力の低下や安心安全確保に向けた活動が困難になることが予想される。さらに医療や福祉関連経費（扶助費）の増加による財政負担の増加、硬直化により、子育て世代への支援や雇用創出に向けた取り組みへの影響が懸念される。

4-3 目標

市民一人ひとりが生きがいを持って、地域や社会に貢献し幸せに暮らすためには健康寿命を延ばすことが重要であり、そのためには若年期からの運動習慣の定着が必要である。また、近年増加している生活習慣病により日常生活が制限されることなく、健康に生活するためにも、日常的に運動することが重要であり、今後その役割は増すものと考えられる。

本市では、昭和52年に制定した市民憲章の中に「スポーツを楽しみ健康で活気のあるまちにします」と掲げ、また平成元年には、「健康宣言都市」を行い、老若男女誰もがスポーツに親しめるまちづくりに取り組んできた。さらに平成28年度には「茂原市スポーツ推進計画」を策定し、この計画では一人でも多くの市民が生涯に渡ってスポーツに親しみ、健康で明るい生活が送れるよう、「市民ひとり1スポーツ」を基本理念とし、「スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち茂原」の実現に向けて、取り組むこととしている。取り組みとして、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの普及に努め、特に茂原市発祥の新しいスポーツ「タッチバレーボール」の千葉県大会の開催や茂原市市民体育館に設置されている相撲場で現役力士と触れ合える「ふれあい大相撲」など、スポーツ大会やイベントを開催している。また、高齢者の心身機能の改善と地域での活動を通してつながりを強める「もばら百歳体操」の普及により、自分らしい暮らしを人生最後まで続けられるような地域づくりを目指すこととしている。

今回の取り組みは、更なる本市の魅力向上のため、茂原市市民体育館のトレーニング室の設備更新及びトレーニング室の改修、また最新の設備を利用したトレーニング教室の開催により、誰もが気楽に安心安全に、かつ本格的に健康づくり、体力づくりができる環境を整備する。これらの事業を通じて、市民一人ひとりが、生きがいを持ち、住み慣れたこの地域で、気軽にスポーツや運動を楽しみながら、健康に住み続けられる社会を構築し、茂原市空き家バンク事業や三世代同居等支援事業の実施も含めて、シティプロモーション事業を推進することにより「スポーツを楽しみ健康で活気あるまち」として他市にはない魅力をアピールし、共感を得ることで移住者・定住者の増加へとつなげる。

【数値目標】

事業	スポーツで茂原元気プロジェクト		年月
	スポーツイベントの参加人数	転入超過数（転入者数－転出者数）	
K P I			
申請時	7,468人	215人	H29.3
初年度	7,800人	215人	H30.3
2年目	8,000人	220人	H31.3
3年目	8,200人	225人	H32.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

茂原市市民体育館のトレーニング室の設備更新及び最新の設備を利用したトレーニング教室の開催により、誰もが気楽に安心安全に、かつ本格的に健康づくり、体力づくりができる環境を整備する。また、最新のトレーニング機器を備えた茂原市市民体育館と様々なスポーツイベントの開催により、スポーツを楽しみ健康で活気あるまちとしての魅力を発信する。

さらに、独自の取り組みとして、もばら百歳体操、スポーツ推進事業、空き家バンク事業、三世代同居等支援事業、シティプロモーション事業を一体で行い、「スポーツを楽しみ健康で活気あるまち」として他市にはない魅力をアピールし、共感を得ることで移住者、定住者の増加を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：スポーツで茂原元気プロジェクト

(2) 事業区分：移住・定住促進

(3) 事業の目的・内容

(目的)

「茂原市まち・ひと・しごと総合戦略」において、「スポーツで培う市民の活力と賑わいづくり」を施策として掲げており、スポーツを通じた健康寿命の延伸やスポーツイベントの拡充などに取り組んでいる。また、平成28年度に「茂原市スポーツ推進計画」を策定し、「市民ひとり1スポーツ」を基本理念とし、「スポーツを楽しみ健康で活気のあるま

ち茂原」の実現に努めている。

「茂原市スポーツ推進計画」を策定するにあたり、平成 26 年度に 20 歳以上の茂原市民 2,000 人を無作為に抽出し実施した「スポーツ活動に関するアンケート調査（以下、「アンケート調査」という）によると、スポーツ・運動をしていない理由として「忙しくて時間がない」が 44% で、次に「始めるきっかけがない」の 13%が続いている。「場所・施設が近くにない」4%の意見がある。

スポーツ・運動をする理由としては、回答件数の約 30%が「健康・体力づくり」としており、約 24%の「運動不足解消」、約 16%の「気晴らし・ストレス解消」と併せると、健康増進に関する動機が約 7 割を占めている。スポーツ・運動に期待する役割についても 43%の回答に「健康づくり」をあげている。また、スポーツ・運動を盛んにするためには「スポーツ行事・大会・教室の開催」が約 26%を占め、参加したいスポーツイベントについても「健康増進」関連が約 30%となっており、スポーツ・運動を通じた健康への関心を伺うことができる。

そこで、市民が望む「健康づくり」に寄与することは、移住者・定住者に対しても魅力的であると考えため、「アンケート調査」にもあるように、市民にとって身近にある茂原市市民体育館のトレーニング室の老朽化した設備を更新し、最新の機器を活用したトレーニング教室を開催することで、より気楽に誰もが安心安全に、かつ本格的に健康づくり、体力づくりができる環境を整備する。このことに加えて様々な健康づくり関連のイベントを開催することで忙しくて時間のない人や始めるきっかけがない人に対し、スポーツ・運動にふれあう機会を増やし、もってスポーツ・運動による健康づくりを推進するまちとしての魅力を発信し、共感を得ることで、移住者・定住者の増加を図る。

(事業の内容)

①茂原市市民体育館の魅力向上事業

茂原市市民体育館のトレーニング室のトレーニング機器は昭和 57 年の建設当時のものがほとんどであり、最新の機器と比べると安全性や機能が劣っている。機器を更新することにより、だれにでも安心安全で使いやすく、また効果的なトレーニングを行えるようにし、併せてトレーニング室の改修、内装工事や監視カメラの設置を行い、利用者の利便性、快適性の向上を図ることにより、気軽に本格的なトレーニングが快適に行えるという茂原市市民体育館の施設の充実による魅力の向上を図る。

②茂原市市民体育館の魅力発信事業

茂原市市民体育館の施設の充実に伴い、最新の機器を利用したトレーニング教室を開催する。教室の開催に当たっては、平成29年9月に大手製薬会社との間で交わした連携協定を活用して講師派遣を依頼し、従前では成しえなかった性別や年齢別など利用者それぞれの目的や好みに応じたトレーニング教室を開催する。トレーニング教室を通じた健康づくりの取り組みを現在行っているシティプロモーション事業の中で、本市の魅力として、市内外に幅広くPRを行い、市民には地域への愛着度や定住意識の向上、市外居住者には「スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち茂原」という魅力によるイメージアップによる移住者・定住者の増加を図る。

本事業の他に茂原市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」や現役力士によるふれあい相撲、元プロ野球選手による野球教室や親善試合など多くのスポーツイベントの開催や茂原市保健センターが茂原市市民体育館に隣接しており、気軽に健康相談ができる環境となっていることなど、「スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち茂原」という本市の魅力をシティプロモーション事業と一体となってい、共感を得ることで移住者・定住者の増加を図る。

→各年度の事業内容

スポーツで茂原元気プロジェクト

初年度) 茂原市市民体育館のトレーニング室の設備更新及び改修工事を行う。

2年目) 茂原市民体育館の設備更新を行う。

トレーニング機器を活用した教室の開催による魅力発信

3年目) 茂原市民体育館の設備更新を行う。

トレーニング機器を活用した教室の開催による魅力発信

(4) 地方版総合戦略における位置付け

「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、「スポーツで培う市民の活力と賑わいづくり」として位置付けており、H27～31年の20～39歳の社会移動数を▲123人、H31年のスポーツイベントの参加人数を年間6,000人とすることとしており、本事業はまさにその目標達成に寄与する事業である。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

事業	スポーツで茂原元気プロジェクト		年月
	K P I	スポーツイベントの参加人数	
申請時	7,468人	215人	H29.3
初年度	7,800人	215人	H30.3
2年目	8,000人	220人	H31.3
3年目	8,200人	225人	H32.3

(6) 事業費 (単位：千円)

スポーツで茂原 元気プロジェクト	年度	H29	H30	H31	計
		事業費計	32,732	700	700
区分	工事請負費	5,829	-	-	5,829
	委託料	-	500	500	1,000
	備品購入費	26,903	200	200	27,303

(7) 申請時点での寄附の見込み (単位：千円)

	H29	H30	H31	計
電気工事業	31,000	100	100	31,200
計	31,000	100	100	31,200

(8) 事業評価の方法（PDCA サイクル）

（評価の手法）

外部有識者により構成する「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」や議会の関与により評価する。

（評価の時期・内容）

毎年度、3月末時点の達成状況を8月頃開催する外部有識者からなる「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による効果検証を行い、効果の測定をする。

（公表の方法）

茂原市ウェブページにて公表する。

(9) 事業期間

平成29年11月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) もばら百歳体操

事業概要：体操による高齢者の心身機能の改善に加えて、地域での活動を通して生きがい・助け合い・地域のつながりを強め、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続ける」ことを目指す。

事業主体：茂原市

事業期間：平成 28 年度～

(2) スポーツ推進事業

事業概要：茂原市発祥の新しいスポーツ「タッチバレーボール」の千葉県大会の開催により、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの普及に努める。また、現役力士によるふれあい相撲、元プロ野球選手による野球教室や親善試合を開催し、トップアスリートによるスポーツの楽しさや努力することの大切さを伝える機会を充実させる。

事業主体：茂原市

事業期間：平成 28 年度～

(3) シティプロモーション事業

事業概要：地域の魅力を市民とともに創造し、基本方針等を策定し地域の魅力を内外へ効果的に発信することで、『地域イメージのブランド化』を目指し、移住・定住人口の増加を図る。

事業主体：茂原市

事業期間：平成 29 年度～

(4) 茂原市空き家バンク事業

事業概要：市内で居住していない戸建て住宅を所有し、売買または賃貸を希望する方と、空き家の利用を希望する方が、茂原市空き家バンクに登録し、マッチングすることで、空き家の有効活用を行い、移住・定住の促進と地域の活性化を図る。

事業主体：茂原市
事業期間：平成 29 年度～

(5) 三世代同居等支援事業

事業概要：親または子のどちらかの世帯が市内へ転居し、親・子・孫の三世代で、同居または市内居住をする方に、住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住の促進を図る。

事業主体：茂原市
事業期間：平成 29 年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

外部有識者により構成する「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」や議会の関与により評価する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度、3 月末時点の達成状況を 8 月頃開催する外部有識者からなる「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による効果検証を行い、効果の測定をする。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

茂原市ウェブページにて公表する。